

生涯スポーツ

使用教科書・副教材	単位数	学年・学級・学科・選択名等
なし	2	3年(選択C)

1 学習の到達目標

学習の到達目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
---------	---

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
前期	4	0 オリエンテーション	1	0 学習の進め方を確認する。	○				・観察
	5	1 選択Ⅰ（球技・屋内） (1) バレーボール (2) バスケットボール	15	(1) 状況に応じたボール操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開する。 (2) 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。	○	○	○	○	・観察 ・学習カード
		6		2 選択Ⅱ（球技・屋外） (1) サッカー (2) ソフトボール	16	(1) 状況に応じたボール操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開する。 (2) 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。	○	○	○
	7	3 球技 (1) バレーボール	16	(1) 状況に応じたボール操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開する。		○	○	○	○
	8				○	○	○	○	・観察
	後期	11	4 軽スポーツ (1) バドミントン (2) 卓球 (3) ユニホック (4) ミニバレー (5) エアロビクス	14	(1)～(4) 状況に応じたボール操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開する。 (5) リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊る。	○	○	○	○
12									
1									

3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技 能	④知識・理解
内 容	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組む。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方を工夫する。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫する。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付ける。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解する。
割 合	40%(点)	10%(点)	40%(点)	10%(点)

評価について

評価	評価点
10	4.8 ~ 5.0
9	4.5 ~ 4.7
8	4.0 ~ 4.4
7	3.5 ~ 3.9
6	3.1 ~ 3.4
5	2.7 ~ 3.0
4	2.4 ~ 2.6
3	2.0 ~ 2.3
2	1.6 ~ 1.9
1	1.0 ~ 1.5

学年末評定について

評価	評価点
5.0	4.5 ~ 5.0
4.0	3.5 ~ 4.4
3.0	2.4 ~ 3.4
2.0	1.6 ~ 2.3
1.0	1.0 ~ 1.5

4 履修にあたっての注意事項

- (1) オリエンテーションで確認することを厳守すること。
- (2) 自他の安全を最優先して活動すること。
- (3) 毎時間の授業を大切に、実技へ積極的に参加すること。
- (4) 自分勝手に行動せず、教員の指示に従うこと。

※ 注意事項を守れない場合、実技の参加を認められない場合があり、未履修となることがあるので注意すること。